

質 疑 回 答 書

次のとおり質疑がありましたので、回答します。

質 疑 提 出 日	令和元年12月10日
件 名	水質試験業務
場 所	荒川水循環センター（戸田市笹目地内）

質 疑 内 容	回 答
①業務時間内（8時間）で20,000ℓのろ過は、40ℓ/分となります。詰まり等を考慮すると現実的ではないと思われませんが、想定されている採取方法があればご教授ください。	50cm×20cmの四角形（網口）に加工したフランクネットとろ水計を設置し、試料採取してください。
②試料採取量が多いと思われます。参考にされた資料があればご教授ください。	仕様書どおりの採取量でお願いいたします。なお、参考資料はありません。
③SS（水に溶けず浮遊し、水を濁らせている微粒物質、通常は直径2mm以下の微粒物質をさす）が多い場合は、分離、計測が困難になる可能性があります。よって、試料量を減らすことは可能でしょうか。	不可（仕様書のとおり）
④結果算出の1.0mm未満は0.1～1.00mm未満の解釈でよいでしょうか。5.0mm以上の計測の最大の上限はございますか。	1.0mm未満は解釈のとおりです なお、最大値は設けません。
⑤計測において光学顕微鏡の代わりにデジタルマイクロスコープを使用してよいでしょうか。	不可（仕様書のとおり）
⑥計測においてマイクロプラスチック等とありますが、「等」は何を指しているのでしょうか。	FT-IRで素材判定可能なものすべてとします。